

DIAGNOSTIC TOOL

操作ガイド

HDM-10000

三菱ふそうキャンター(2017 年モデル以降)

カメラ(MPC/MPC2)のキャリブレーション/静的エーミング

注意事項/必ずお読みください

- 本書は Astemo ダイアグノスティックツール HDM-10000 用診断ソフトの診断機能の操作方法、活用事例について紹介するものです。自動車メーカー発行の整備解説書を代替するものではありません。
- 実際の作業にあたっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で正式な作業手順、注意事項をご参照のうえ、作業を行ってください。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更されるため、本資料で紹介する機能が使用できない場合があります。

1.三菱ふそう(2017 年モデル以降)のレーンキープアシストのカメラ(MPC/MPC2)のキャリブレーション概略

- 三菱ふそうキャンター(2017 年～2024 年ごろの排ガス記号が TPG/TRG/2PG/2RG/2TG の車両)では、レーンキープアシストを構成する MPC/MPC2 やフロントガラスの交換、取外しをおこなったとき、スキャンツールの作業サポーター「キャリブレーション(静的エーミング)」を使用して「MPC/MPC2 のキャリブレーション」を行います。
- 「MPC/MPC2 のキャリブレーション」の手順の概略は以下となります。

ターゲット(MPC エーミング用)の準備、
ターゲット～車両間の距離、カメラの
高さの計測をする。
(2 ページの手順 01)



スキャンツールの「キャリブレーション(静的エーミング)」
を実行する。
(2～6 ページの手順 02～07)

- なお、スキャンツールによる「MPC/MPC2 のキャリブレーション」には「キャリブレーション(動的エーミング)」もありますが、本書では「キャリブレーション(静的エーミング)」での手順を紹介します。

(次ページに続きます)

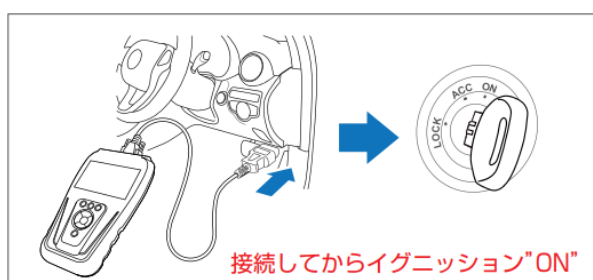
2.HDM-10000 用三菱ふそう診断ソフトによる MPC/MPC2 のキャリブレーションの例

【手順 01:ターゲットの準備と車両状態の確認など】

- ①整備解説書を参照してターゲット(MPC エーミング用)の用意と設置を行ってください。
- ②車両を空車状態にしてください。また、タイヤ空気圧、バッテリーの充電状態を確認してください。
- ③エアサス車およびニーリング付車の場合、車両高さ、姿勢を中立状態にしてください。
- ④地面からの MPC/MPC2 の中心までの高さを測定してください。(手順 05 の③で使用します)
- ⑤ターゲット(MPC エーミング用)と MPC/MPC2 間の距離を測定してください。(手順 06 の①で使用します)

【手順 02:HDM-10000 の車両への接続】

- ①HDM-10000 を車両側診断コネクタに接続してください。HDM-10000 が起動します。
- ②車両側イグニッションキーを ON にしてください。
- ③HDM-10000 メニュー内の「特殊機能」を選択して ENTER キーを押してください。



【手順 03:エーミングの起動から三菱ふそうの選択まで】

- ①「特殊機能」が表示されたら「エーミング」を選択して ENTER キーを押してください。
- ②「エーミング」が表示されたら画面の左側の一覧から「エーミング作業」を選択し、次に画面の右側の一覧から「三菱ふそう」を選択して ENTER キーを押してください。



(次ページに続きます)

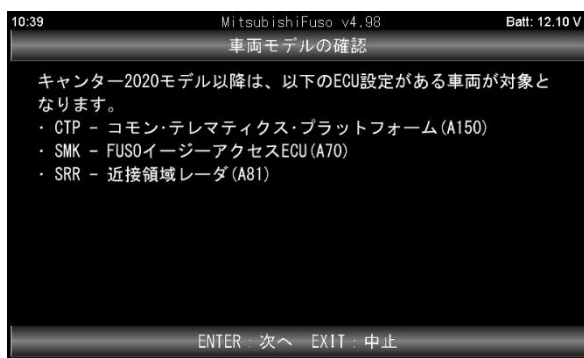
【手順 04:車両選択からキャリブレーション(静的エーミング)の選択まで】

- ①「車両選択」が表示されたら該当する車両名を選択して ENTER キーを押してください。次に「年式選択」が表示されたら該当する年式を選択して ENTER キーを押してください。

※初年度登録が 2024 年で車台番号が 610001 未満の車両は 2020 年モデルを選択してください。



- ②「車両モデルの確認」が表示されたら内容を確認して ENTER キーを押してください。「車両システム確認中・・・しばらくお待ちください。」が表示されたあと「エーミングモード」が表示されます。



- ③「エーミングモード」で「マルチファンクション・カメラ」を選択して ENTER キーを押してください。「MPC 作業サポート」が表示されたら「キャリブレーション(静的エーミング)」を選択して ENTER キーを押してください。



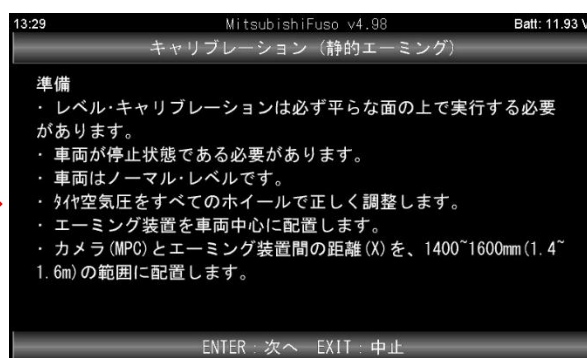
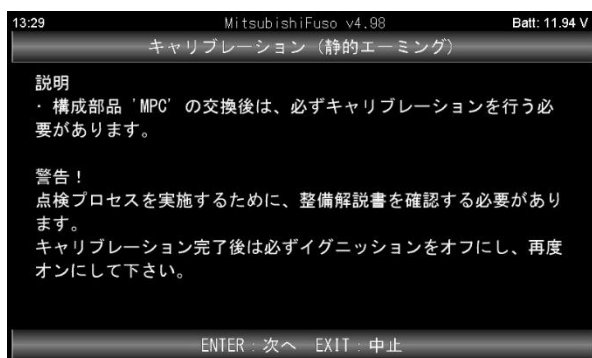
(次ページに続きます)

【手順 05:今日の年月とカメラの取付け高さの入力】

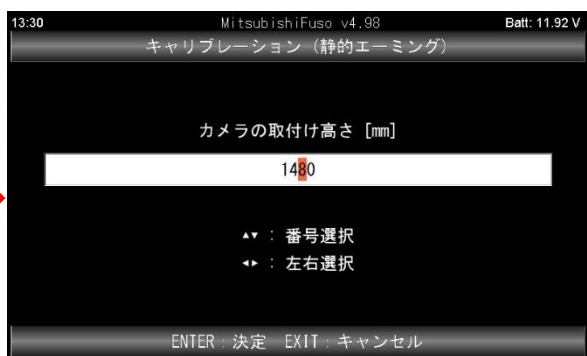
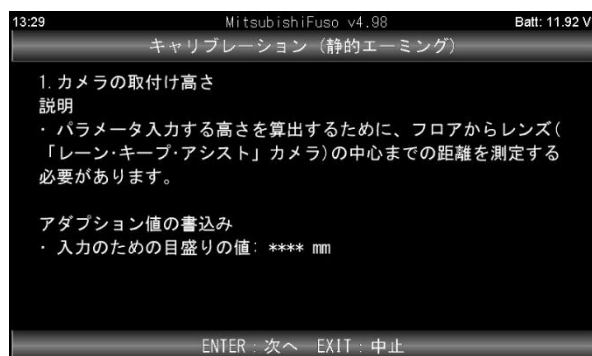
- ①「今日の日付」が表示されたら上下左右キーで年月日を入力して ENTER キーを押してください。



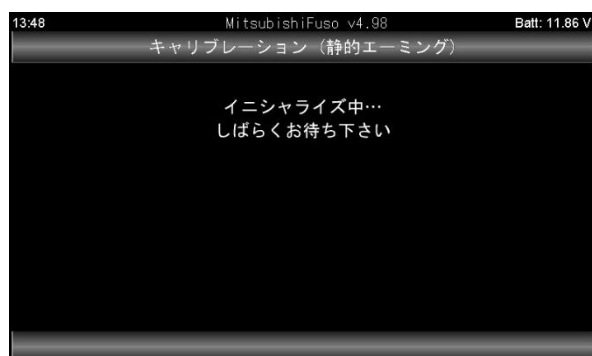
- ②「説明」が表示されたら ENTER キーを押してください。次に「準備」が表示されたら内容を確認して ENTER キーを押してください。「イニシャライズ中・・・しばらくお待ちください。」が表示されます。



- ③「1.カメラの取付け高さ」が表示されたら内容を確認して ENTER キーを押してください。次に表示される画面で手順 01 の④で計測した値を上下左右キーで入力して ENTER キーを押してください。



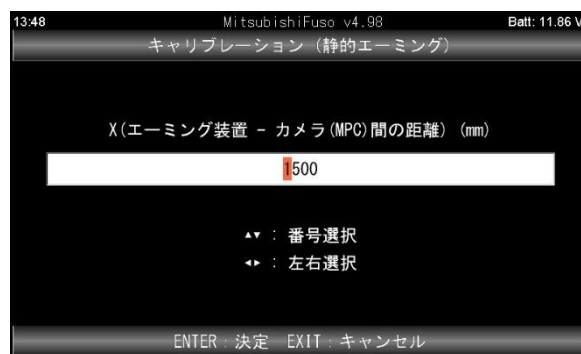
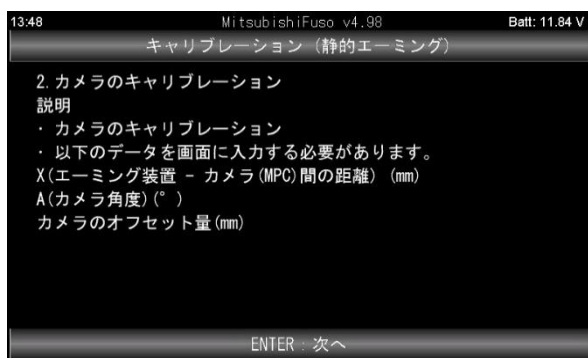
- ④「イニシャライズ中・・・しばらくお待ちください。」が表示されたあと「カメラの取付け高さ設定が無事適用されました。」が表示されましたら ENTER キーを押してください。



(次ページに続きます)

【手順 06:カメラのキャリブレーション】

- ①「2.カメラのキャリブレーション」が表示されたら内容を確認して ENTER キーを押してください。次に表示される画面で手順 01 の⑤で計測した値を上下左右キーで入力して ENTER キーを押してください。



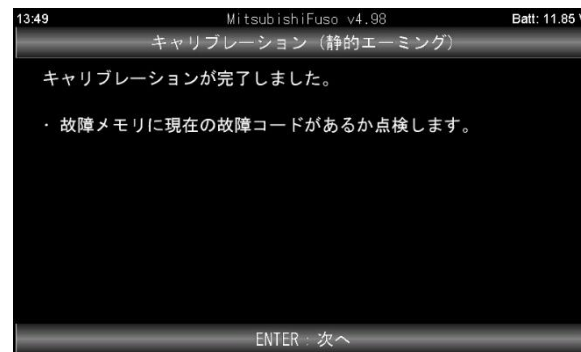
- ②「A(カメラ確度)」が表示されたら該当する車両名を選択して ENTER キーを押してください。次に「カメラのオフセット量」が表示されたら該当する項目を選択して ENTER キーを押してください。



- ③手順 05 の③、手順 06 の①で入力された値から算出された「ターゲット中心高さ」の値が表示されます。整備解説書を参照して、ターゲット(MPC エーミング用)の高さを調整してから ENTER キーを押してください。



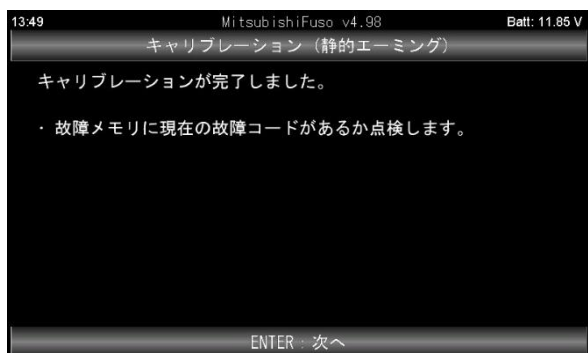
- ④「入力した値は本当に正しいですか？」が表示されたら内容を確認して ENTER キーを押してください。「イニシャライズ中・・・しばらくお待ちください。」が表示されたあと「キャリブレーションが完了しました。」が表示されます。



(次ページに続きます)

【手順 07: キャリブレーションのステータスの確認】

- ①「キャリブレーションが完了しました。」が表示されたら内容を確認して ENTER キーを押してください。「イニシャライズ中・・・しばらくお待ちください。」が表示されたあとに表示されるデータモニターで「キャリブレーションのステータス(静的)」の値が「キャリブレーション成功-(静的)」が表示されていれば完了です。EXIT キーを押してください。



13:49 MitsubishiFuso v4.98 Batt: 11.85 V
キャリブレーション (静的エーミング)

キャリブレーションのステータス(静的)	キャリブレーション成功 - (静的)
ピッチ・アングル	-0.42 °
ロール・アングル	0.39 °
ヨー・アングル	-2.03 °

データ保存 印刷

- ②最後に「エーミングモード」の「全自己診断」を使用して「マルチファンクション・カメラ」に故障コードが記憶されていないか確認を行ってください。
- また、キャリブレーション完了後にテスト走行を行う場合は ECU の書換えを完了するため、車両側イグニッションキーを OFF→ON を行ってください。



(2025.7 発行)